FACULTY OF ENGINEERING 保存版 2018 KINDAI UNIVERSITY

KINDAI UNIVERSITY FACULTY OF ENGINEERING

近畿大学工学部 同窓会報

第21号
（平成30年9月1日）

今年は

10月6日㈯開催

平成30年度同窓会・懇親会のご案内

左記の通り、工学部同窓会の総会・講演会・懇親会を開催致しますので、卒業生の皆様にはご友人ならびにご家族お誘い合わせのうえ、多数ご参集くださいますようご案内申し上げます。

会名称　近畿大学工学部同窓会
平成30年度総会・講演会・懇親会

日　時　平成30年10月6日㈯
午後3時　受付開始
午後4時～4時20分　総　会
午後4時30分～5時30分　講演会
午後5時40分～7時40分　懇親会

講演会（午後4時30分開始）
演題：「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」
（講師）近畿大学 総務部長　世耕　石弘

場　所　ホテルセンチュリー21広島（JR広島駅南口の南方向300メートル）

会　費　一般　五千円
幹事期　三千円
年齢三十代および二十代　三千円
同伴家族　千円
（当日、受付にて支払い）

幹事期
・第19期生（昭和56年3月卒業）
・第34期生（平成8年3月卒業）
・第49期生（平成23年3月卒業）
幹事期の皆さんは同期会として多数ご参集ください。

申　込　左記いずれかの方法でお申込みください。
（申込み締切：9月29日㈯）
・同窓会報21号添付のはがき
・Eメール：dousou@hiro.kindai.ac.jp

講師紹介

世耕石弘
（学校法人 近畿大学 総務部長）

奈良県出身。大学を卒業後、1992年近畿日本鉄道株式会社に入社。以降、ホテル事業、海外派遣、広報担当を経て、2007年に近畿大学に奉職。入学センター入試広報課長、同センター事務長を経て、2013年4月に広報部長代理、2015年4月より広報部長、2017年4月より総務部長、現在に至る。

今年度の同期会

・第19期生（昭和56年3月卒業）
・第34期生（平成8年3月卒業）
・第49期生（平成23年3月卒業）
会費：三千円

★Eメール：dousou@hiro.kindai.ac.jp　★TEL：082-434-7005　★FAX：082-434-7011

同窓会ニュース

随想　同窓会に行こう

前工学部同窓会長　小松眞一郎

同窓会は魅力に溢れた人脈と情報の宝庫です。誰にとっても一度しかない大学時代。勉学と夢と希望に溢れ、迷い、そして挫折も学んだ、青春という宝物のような時代を、同じ土地の同じ大学名の学舎で、同じように体験して過ごしたという共通項は、たとえ時代が異なっていても、他に代えることのできない貴重な人間関係の一つです。たとえ初対面の相手でも、同じ大学の卒業生というだけで、急に親しみが倍増してきます。近畿大学工学部にはそんな同窓という魅力を持つ卒業生が全国で二万五千人います。また近畿大学全体では外国人留学生を含めて五十二万七千人の卒業生がいます。同窓生という貴重な人間関係の知人や友人を活用して人生を豊かにしていただきたい。

工学部同窓会では、毎年十月に工学部卒業生や現役およびOBの先生方を対象にした懇親会・講演会・総会を開催して、時代を超えた工学部同窓生同士の交流の場を開いています。希望者には名刺交換会に参加してもらってビジネスチャンス作りにも活用できます。いろんな職場の先輩や後輩と出会い、語り、知己となって交流の礎を作り、そして輪になって大声で近大節を歌ってあの学生時代の青春を懐かしみましょう。

また近畿大学校友会では、近畿大学の全学部の全卒業生を対象にして全国各地に二百余の支部組織があり、それぞれ定期的に懇親会・ゴルフ会・交流会などを開催して、卒業生の異業種交流や地域での友好団体として活動しています。卒業生各位には、工学部同窓会や近畿大学校友会の活動に積極的にご参加いただき、貴重な人脈作りや情報交流の場に活用して人生の幅を広げていただきたい。

工学部同窓会活動の一つとして、毎年「工学部同窓会報」を発行して、同窓会活動や母校の発展状況の紹介などをしています。開設当時には化学と機械の二学科だった工学部に、経営と建築が加わって四学科に、そして東広島市への移転に伴って電情と機械システム（現・ロボティクス）が学科増設されて現況の六学科体制に発展し、更には大学院（修士・博士課程）、次世代基盤技術研究所、附属高校・中学校などが併設されて中四国地方有数の素晴らしい近畿大学工学部に発展している様子をお伝えしています。

同窓会は学術研究面においても活用できます。工学部には、所属教員の各研究室に加えて次世代基盤技術研究所や近畿大学工学部産官学連携推進協力会などの研究支援組織があり、卒業生企業などからの委託研究や共同研究などで卒業生の生涯教育に支援協力をしています。同窓生各位には母校の豊富な魅力を大いに活用していただきたいと願っています。（筆者は工学部機械工学科二期生、元工学部教員）。

平成29年度近畿大学工学部同窓会総会・懇親会を開催

平成29年10月21日㈯ホテルセンチュリー21広島において、同窓会総会・懇親会を開催しました。参加者は卒業生、退職教職員、現教職員、来賓、在学生など合わせて総勢約170名でした。総会終了後、近畿大学工学部建築学科・谷川大輔准教授による講演会を開催し、好評を博していました。

懇親会では、今年度で同窓会長を勇退された小松前会長（近畿大学名誉教授）へ感謝状の贈呈が行われました。また、クラブ活動が活発な空手道部・硬式野球部・少林寺拳法部の学生から現状の報告などが行われました。近年趣向を変えた「大じゃんけん大会」は、大盛況でマッサージシート等豪華景品を獲得されました。

同窓会長も藤田博久新会長になり、新しい同窓会の一歩となった懇親会でした。ご参加いただきました関係者の皆様におかれましては、誠にありがとうございました。

今後とも工学部同窓会の活動にご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

来年（平成31年）は工学部創設60周年になります！

次年度は工学部創設60周年となります。同窓会では60周年記念懇親会として開催する予定です。日程等は左記の通りですので、奮ってご参加ください。卒業生で母校・近畿大学工学部を盛り上げましょう。

●工学部同窓会創設60周年記念懇親会
日時：平成31年（2019）10月12日㈯
17時30分～20時30分
場所：ホテルグランヴィア広島
４Ｆ　悠久の間

工学部ニュース

呉・東広島の42年間をふりかえり

工学部長
野村　正人

今年は戦後最大の西日本地域を襲った集中豪雨（7月6、7日）で、甚大な被害を受けられた皆さまに、工学部同窓会名誉会長としまして心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

さて今回、同窓会会誌への執筆の機会をいただいたことから、最近の工学部の飛躍についてご報告させていただきます。まず、来年度は呉市広町の地に2学科で創設（昭和34年・1959年）されました工学部が創設60周年を向かえることとなります。さまざまな社会変貌の中で、平成3年に学園都市を目指していた東広島市へ2学科の移転（工業化学科（現：化学生命工学科）、建築学科）と、同時に産業界の要請に応えた学問分野の2学科を新設（電子情報工学科、機械システム工学科（現：ロボティクス学科））東広島キャンパス4学科体制）しました。また、平成13年には呉キャンパスの2学科（機械工学科、経営システム工学科（現：情報学科））の移転が完了し、工学分野を網羅した6学科体制の学部としてスタートし、今年で27年が過ぎようとしております。その間、今後の大学運営上、重大な問題として少子化が議論されました。予想される受験生の減少に対する対応策として、大学の使命であります研究の促進と国際的にも通用する人材の育成を掲げた大学が多くある中で、私どもが取り組みましたことは、産業界、ならびに地域社会で信頼される学生の育成に対する取り組みを優先的に行い、また、魅力ある広島キャンパスづくりに重きを置いたキャンパス改革を推し進めてまいりました。その方策としましては、まずは教育主体の学部に転換し、受け入れました学生の資質に即した教育改革を積極的に行い、その結果、中四国地域の私立理系大学としてのステータスを確立しつつあり、確実に志願者数を確保することができました。一方、研究成果を厳格に評価し教員の大胆な格付けをした基準づくりを行い、現在、適正な評価を実施しております。今後の課題としましては、大学院での魅力ある教育と産業界との強い連携による魅力ある研究体制を整える必要性があります。今後、ますます厳しい教育環境の中で、学園の中での地方キャンパスとしてのモデル校を目指し、学生満足度の向上を継続していただきたいと考えております。新たに就任されます学部長のもと、深刻化する問題であります学生獲得のための新たな計画が実行されますが、工学部同窓会員（平成30年3月現在）2万4966人の力を新たに結集していただき、創設100年を目指した工学部であるための、さまざまなご意見やご支援をいただき、社会貢献が継続できる学部であり続けていただければと願っております。

近畿大学学長に細井美彦が就任

近畿大学および近畿大学短期大学部（大阪府東大阪市）学長　塩﨑均の任期が平成30年（2018年）3月31日に満了することに伴い、細井美彦が4月1日付で学長に就任いたしました。

〔プロフィール〕

生殖生理学の専門家として、ヒトの生殖補助医療に携わり、胚培養士の養成や希少動物の種の保存に尽力。平成20年（2008年）には絶滅が危惧される天然記念物アマミノクロウサギのクローン胚をつくることに成功。また、本学が選定された21世紀COEプログラム「食資源動物分子工学研究拠点」における推進メンバーとしてホウレンソウ豚の開発に携わるほか、組織的な大学院教育改革推進プログラムにおいては、高度専門職業人の養成に努めた。

現在では、自己点検・評価委員長として教育の質向上に取り組み、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」において、インターナショナルセンター担当副学長として、ロシアとの相互発展に向けた事業を推進している。

はじめませんか？産学官連携
近畿大学だからできること。

近畿大学工学部産学官連携推進協力会は、近畿大学工学部が持つ様々な研究の成果を活かし、地域活性化に貢献し、産業界等と共同で産学官の連携を推進する組織として2002年10月に発足しました。

多くの卒業生の皆さまに支えていただきながら、〝交流の輪〟を広げていきたいと考えております。

研究者や他の企業と交流できる！

・協力会会員限定イベント「総会・技術発表会・技術交流会」では、会員企業による研究開発・商品開発に関する技術発表を行い、連携交流を促す意見交換の場となっています。（※参加無料）

・産学金官が一同に会する一大イベント「研究公開フォーラム（p4）」では、ブース出展が無料です。

専門知識の学び直しができる！

・学び直したい技術者等のための「社会人リカレント講座」が会員価格で受講可能です。

・次世代基盤技術研究所を見学いただけます。※予約制

研究開発の悩みを相談できる！

・次世代基盤技術研究所の社会連携センターが窓口となり、技術的な相談を受け付けています。工学部に希望する分野の研究者がいなくても、全国の近大キャンパスから専門の研究者をマッチング！〝オール近大〟で課題に対応します！

また、共同研究は学生の企業を知る場となっています。

情報をいち早くお届けします

・ニュースレターやメールマガジンでは、イベント情報や、近畿大学の取り組みをいち早くお届けします。

入会方法

ご入会のお申し込みは、同封の入会申込書にご記入の上、近畿大学　次世代基盤技術研究所　社会連携センターまでご送付ください。

FAX TEL：082-434-7005
：082-434-7020
E-mail：riit@hiro.kindai.ac.jp

年会費　法人会員一口五千円、個人会員一口二千円
複数口（企業の部門毎）の入会も可。

お申し込み後、会費請求書を送付させていただきます。

主な年間行事

平成29年7月以降の主な行事を記載します。

体育館が完成

平成30年2月23日㈮に体育館の竣工式を執り行いました。

体育館は最大約2，000人収容可能で、大学および附属高・中学校の学生生徒らの心身の健康増進、教育内容の充実を図り、スポーツ・文化施設として更なる地域貢献をめざします。

■延床面積：1,810.27㎡（547.60坪）（バスケットボールコート2面分）

■構造：鉄骨造平屋建

平成29年度卒業式

平成30年3月13日㈫、工学部卒業証書授与式ならびに大学院システム工学研究科学位記授与式が挙行されました。学部卒業生468名、博士前期課程修了生40名が新たに同窓会に加わりました。

（平成29年度卒業記念フォトムービー）

URL　https://youtu.be/7ILHIjVNob0

平成30年度入学式

平成30年4月6日㈮、工学部ならびに大学院システム工学研究科入学式が新築の体育館で挙行され、学部530名、大学院博士前期課程32名の計562名が入学しました。

B館・多目的ホール・D館東側トイレリニューアル工事を実施

年次計画で改修を進めているトイレリニューアル工事ですが、平成29年9月にB館・多目的ホール、平成30年3月にD館東側トイレリニューアル工事を実施しました。

清潔なイメージへの内装リニューアル及び節水便器・温水洗浄便座やアイランド式の手洗いの配置、パウダースペースや更衣スペースを設け、学生や来客者の満足度向上に繋がりました。今後も、引き続き各館のトイレリニューアルを進めていく予定です。

近畿大学工学部 研究公開フォーラム2018

研究公開フォーラムは、広く地域の産業界、行政、産業支援機関の方々に工学部研究者の研究シーズを発信するため、平成13年度から開催しており、今年で18回目の開催となります。今年も、昨年に引き続き広島市で開催します。

生産性の向上等を目的に多くの企業でAI（人工知能）等の導入・活用に向けた人材育成が進められている中、今回のフォーラムではAIを活用した感性からのアプローチによるものづくりについて特別講演を行います。

参加無料ですので、卒業生の皆様も是非ご来場ください。

日時：平成30年10月15日㈪
13時～17時（交流会17時10分～18時30分）

場所：広島国際会議場　地下2階
（広島市中区中島町1－5　平和記念公園内）

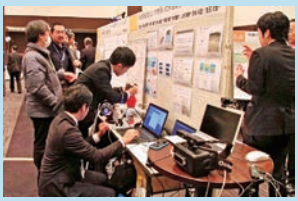
内容：

(1)特別講演
「富士通のものづくりにおけるAI・データ活用」
株式会社 富士通研究所
デジタル共創プロジェクト　製造グループ
ディレクター　澁谷 利行　氏

(2)研究発表
「知能計測工学研究センター紹介」
近畿大学次世代基盤技術研究所
所長
知能計測工学研究センター
センター長・教授　栗田 耕一
「人工知能AIに見る基本原理とその実務応用の可能性例の紹介」
工学部　電子情報工学科
学科長・教授　竹田 史章
「人工知能の学習・教育における現場適用のための一手法」
工学部　情報学科
講師　山元　翔

(3)ポスターセッション
（工学部教員の研究シーズ、研究成果、産学官連携推進協力会会員企業等の製品紹介）

(4)交流会（会費制）



2018年度入試、入学志願者数5年連続日本一

2018年度入試※1（14学部）における一般入試の志願者数が確定し、５年連続日本一となりました。志願者数（延べ）は、昨年度より9,329人増加して、過去最高の15万6,225人となりました。また、総志願者数（延べ）※2 も本学史上最高となった昨年度を10,947人上回り、20万3,404人となりました。この結果について、株式会社大学通信の安田賢治氏は「近大マグロに代表される高い研究力や、24時間利用可能な自習室、蔵書７万冊のうち約２万２千冊の漫画を収蔵する図書スペースなどを備える斬新な教育施設『アカデミックシアター』の新設といった、革新的な取り組みを次々と発信し続けていることが志願者数増加の要因となった」とコメントしています。また英国の教育情報雑誌、タイムズ・ハイアー・エデュケーションが発表した「Times Higher Education World University Ranking」において、直近３年間、関西私学のトップに位置し続けるなど、本学の高い研究力の評価実績も後押しをしています。

〈志願者数増加の背景〉

本学では、志願者数増加の背景として、継続して取り組んできた教育・研究面の改革が受験生に評価されたことに加え、以下の4つの理由があると考えています。

(1)近大ブランドが全国に浸透

地元である近畿エリアで前年度比105.7%と増加していることはもちろん、関東エリアの118.2%をはじめ、北陸エリアにおいても115.9%と、関西以外の地域の志願者数が大きく増加している。近大マグロをはじめとした高い研究力や、東大阪キャンパス大規模整備計画「超近大プロジェクト」などの積極的な情報発信により、全国的な認知が高まった。

(2)文系・理系ともに幅広い学問分野を備えている

受験生の動向は文高理低となる中で、本学は募集定員比率が文系：理系でほぼ1：1となる幅広い学問分野を備えていることで、多様な受験者層を獲得している。

(3)関西エリアの「志願したい大学」1位を初めて獲得

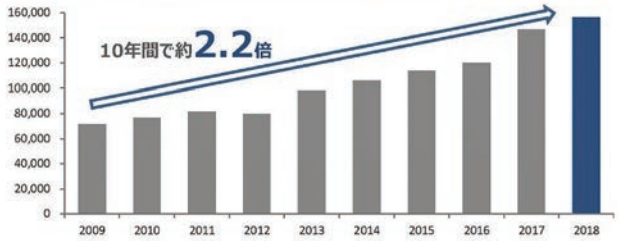
リクルート進学総研が平成20年（2008年）から実施している「進学ブランド力調査」関西エリアにおいて、高校生が選ぶ「志願したい大学」1位※3 となりました。

(4)アカデミックシアターの新設による学習環境の充実

平成29年（2017年）4月、東大阪キャンパスにオープンしたアカデミックシアターは、24時間利用可能な自習室や、漫画約2万2千冊を含む約7万冊の図書を備える図書スペースなどの画期的な学習環境が各メディアで話題となり、本学の認知につながった。

【志願者数10年間推移】

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
志願者数	71,734	76,744	81,387	79,744	98,428	105,890	113,704	119,915	146,896	156,225



【学部別志願者数増減】

学部	2018	2017	増減	対前年比
法	9,039	9,568	-529	94.5%
経済	19,840	17,272	2,568	114.9%
経営	27,756	22,502	5,254	123.3%
文芸	11,077	10,586	491	104.6%
総合社会	13,950	12,364	1,586	112.8%
国際	6,901	7,732	-831	89.3%
合　計	88,563	80,024	8,539	110.7%

学部	2018	2017	増減	対前年比
理工	24,525	21,648	2,877	113.3%
建築	6,736	6,995	-259	96.3%
薬	4,540	4,885	-345	92.9%
農	11,692	14,127	-2,435	82.8%
医	3,300	3,544	-244	93.1%
生物理工	4,920	5,055	-135	97.3%
工	7,708	6,775	933	113.8%
産業理工	4,241	3,843	398	110.4%
合　計	67,662	66,872	790	101.2%

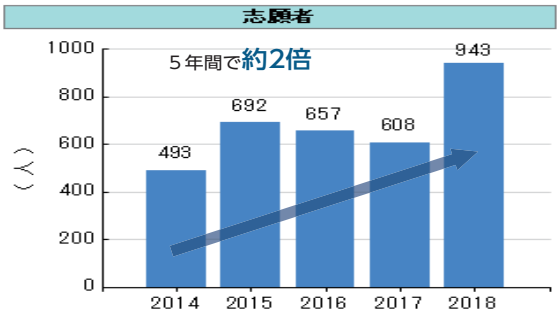
工学部（広島キャンパス）の入学志願者数も増加

工学部（広島キャンパス）でも、近畿大学のブランドイメージ上昇に伴い、広島県を中心に中四国地方、近畿地方、関東地方で大幅に総志願者数（延べ）※2が増加しました。※4

特に、女子総志願者数も増加傾向にあり、将来、工学部で学んだ理系女子（リケジョ）の活躍も期待されます。

【総志願者数５年間推移】

【女子総志願者数５年間推移】



※1　大学入試センター試験利用を含む（短期大学部は除く）。
※2　推薦入試（一般公募）などを含む、全入試の志願者数（短期大学部を含む）
※3　関西大学と同率1位
※4　中国地方（前年度比122.4%）、近畿地方（前年度比113.0%）、関東地方（前年度比161.1%）、四国地方（前年度比103.0%）

就職状況

就職率99.5%を達成！

2018年卒の採用活動スケジュールは、2017年と変更はなく、企業は3月に広報活動がスタートし、6月に選考が始まるという流れでした。しかし、いざ採用活動がスタートすると6月を待たずに「面談」と称した事実上の面接を行った企業もありました。また、解禁前に1dayインターンシップを多くの企業が実施し、実質的な採用活動を行っているケースも一部で見受けられました。その様な就職環境の中で工学部の学生の状況は、5月末で内定率40%、6月末で内定率67%と昨年を上回るスピードで企業から内々定をいただき、早々に就職活動を終えた学生もいましたが、一方で内々定獲得後も活動を継続する学生もいました。すべての学生が順風満帆にいったわけではありませんが、学生の就職への強い意思と教職員による粘り強い支援により、民間企業内定率99・5%、進路決定率95・8%となり、学生の就職した企業への満足度も92%と高い数値となりました。地元企業以外にも、関東、東海、関西方面の企業からも多く内定をいただくようになり、近畿大学のなかでも就職に強い工学部として、知名度がアップしている状況です。

2019年卒も、昨年を上回る状況で、すでに約81%（7月末時点）の学生が内々定をいただいております。学生の満足度の高い就職を維持するためにも学生達への就職支援に全力を尽くす所存です。

求人等のご依頼は学生支援課・就職担当まで是非ご一報ください。卒業生の皆様におかれましては、本学部の就職に対し、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

インターンシップ研修の実施

本学部では、毎年夏休みにインターンシップ研修を実施しています。職場体験を通じ、職業意識の醸成、社会人としての心構えや考え方を養成するためにもインターンシップを推奨しております。5日間から10日間のインターンシップの経験を通して、多くの学生が就職への意識を高めています。一人でも多くの学生が参加することができるように卒業生の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

学内企業説明会の開催

学生の企業研究の場として、学内に企業を招聘して2月に3日間、合同業界研究会を開催しています。毎年約300社の企業に参加していただいておりますが、参加を希望される企業は年々増加し、広島県外からも多くの企業に参加していただいています。特に、卒業生が在籍している企業は、卒業生の活躍もあり、近畿大学工学部の学生に注目していただき、積極的に継続採用していただいています。また、個別の単独企業説明会も随時開催しています。

■学科別主な進路先（平成29年度）■　（50音順）

化学生命工学科
㈱アサヒテクノリサーチ
アヲハタ㈱
アンデルセングループ
大倉工業㈱
オタフクホールディングス㈱
柿原工業㈱
賀茂鶴酒造㈱
㈱クレハトレーディング
㈱サタケ
㈱創味食品
㈱ダイキアクシス
高砂熱学工業㈱
中村角㈱
㈱日本サンガリアベバレッジカンパニー
日本精蝋㈱
広島化成㈱
フジパングループ本社㈱
三浦工業㈱
山崎製パン㈱
㈱やまみ
㈱リブドゥーコーポレーション
湧永製薬㈱
鳥取市役所
近畿大学大学院
九州大学大学院
奈良先端科学技術大学院大学

機械工学科
㈱IHI機械システム
アイシン・エイ・ダブリュ工業㈱
朝日インテック㈱
㈱エクセディ
尾道造船㈱
北川精機㈱
山九㈱
JFEスチール㈱
㈱ジェイ・エム・エス
四国化工機㈱
㈱神鋼エンジニアリング&メンテナンス
新興プランテック㈱
大王製紙㈱
大晃機械工業㈱
㈱中電工
広島アルミニウム工業㈱
フクビ化学工業㈱
豊国工業㈱
三ツ星ベルト㈱
明星工業㈱
㈱ユーシン
㈱四電工
警視庁
近畿大学大学院
京都大学大学院
名古屋大学大学院

情報学科
㈱NTTデータMHIシステムズ
㈱荏原製作所
協栄産業㈱
京セラドキュメントソリューションズ㈱
KBセーレン㈱
㈱サンネット
JFEスチール㈱
西日本旅客鉄道㈱
㈱ジャステック
㈱ソルコム
中電技術コンサルタント㈱
㈱DNP情報システム
㈱DTS
日鉄住金テックスエンジ㈱
広島エフエム放送㈱
広島電鉄㈱
富士ソフト㈱
㈱マイナビ
㈱四電工
理研計器㈱
㈱両備システムズ
御坊市役所
新宮市役所
近畿大学大学院
奈良先端科学技術大学院大学
北陸先端科学技術大学院大学

建築学科
㈱大本組
㈱奥村組
㈱九電工
㈱熊谷組
広成建設㈱
㈱鴻池組
五洋建設㈱
新菱冷熱工業㈱
須賀工業㈱
積水ハウス㈱
㈱錢高組
大成設備㈱
大東建託㈱
大豊建設㈱
大和ハウス工業㈱
高砂熱学工業㈱
高松建設㈱
㈱中電工
東レ建設㈱
日本国土開発㈱
㈱増岡組
三井住友建設㈱
㈱四電工
㈱類設計室
京都市役所
近畿大学大学院

電子情報工学科
㈱ヴィンクス
NECネッツエスアイ㈱
㈱エネルギア・コミュニケーションズ
㈱関電工
㈱九電工
㈱きんでん
㈱クラレ
㈱ケーヒン
JFEスチール㈱
ダイオーエンジニアリング㈱
大日本印刷㈱
㈱タカキベーカリー
㈱中電工
中電プラント㈱
TIS㈱
テンパール工業㈱
㈱東海理化電機製作所
東海旅客鉄道㈱
日本車輌製造㈱
㈱ハイエレコン
フジテック㈱
三菱電機エンジニアリング㈱
リコージャパン㈱
福井県教育委員会
近畿大学大学院
電気通信大学大学院

ロボティクス学科
SCSK㈱
NGKエレクトロデバイス㈱
㈱九電工
京セラドキュメントソリューションズ㈱
KYB㈱
コベルコ建機㈱
㈱サタケ
JFEスチール㈱
㈱神鋼エンジニアリング&メンテナンス
スズキ㈱
㈱ダイクレ
ダイキョーニシカワ㈱
デルタ工業㈱
㈱デンソーテンテクノロジ
東京エレクトロングループ
㈱東洋シート
ナブテスコ㈱
㈱日本製鋼所
㈱日立ビルシステム
富士通㈱
不二輸送機工業㈱
㈱マキタ
㈱ユーシン
横河ソリューションサービス㈱
三重県教育委員会
近畿大学大学院

クラブ活動ニュース

空手道部が西日本大学選手権大会で優勝

5月20日に第56回西日本大学空手道選手権大会が沖縄県立武道館で開催されました。準決勝戦では、西日本5連覇中の近畿大学に3勝2敗で勝利し、決勝戦では全日本2連覇中の京都産業大学を3勝1敗で破り、11年振り3度目の優勝を果たしました。

10月の国民体育大会では全国の大学最多10名以上の出場、全階級優勝を目指しています。そして11月18日の全日本大学選手権大会(日本武道館)では、部員19名一丸となり、悲願の優勝を目指し稽古に励んでいます。今後とも御声援宜しくお願い致します。

(試合結果)

・第43回中四国学生空手道選手権大会　(個人戦)

優　勝　大畠虎太郎(1年)形

　　崎山　優成(1年)組手

準優勝　梶村　侑哉(2年)組手

3　位　田村　嵐(4年)組手

　　江藤　純哉(2年)組手

・第56回西日本大学空手道選手権大会　(団体戦)

優　勝(11年振り3回目)

空手道部・崎山優成君がアジア大会および世界大学空手道選手権大会で優勝

空手道部1年・崎山優成君が5月に沖縄県で開催された「第17回アジアジュニア&カデット、アンダー21空手道選手権大会」の「男子組手-75kg級」で優勝を果たしました。

また、7月に兵庫県神戸市で開催された「2018 FISU 世界大学空手道選手権大会」の「男子組手-75kg級」でも優勝し学生世界一となりました。工学部としては、16年振り3人目の快挙です。

崎山君は平成30年度全日本強化選手(「男子組手」75kg級)にも選ばれており、次世代ターゲットスポーツ育成支援選手として東京オリンピック出場を目指しています。今後とも空手道部並びに崎山君に応援のほど、よろしくお願いいたします。

第6回文化展を開催

平成30年6月23日(土)に第6回近畿大学工学部文化展「彩」を工学部キャンパスにて開催しました。文化系サークルの活動発表の場として多目的ホールでステージ発表、B館では作品展示を行いました。今年は昨年より参加団体が多く様々な色で文化展を彩ることができました。また、各学科の紹介パネルの展示も行い多くの一般のお客様に近畿大学工学部の様子を知っていただきました。次回の文化展は今年以上に盛り上げていくことができればと思います。

陸上競技部が第72回中国四国陸上競技対校選手権大会3位

陸上競技部は高知県、春野総合運動公園で開催された第72回中国四国陸上競技対校選手権大会に出場しました。昨年は10000mWで2位、今年はレース終盤まで先頭争いをしていましたが3位という悔しい結果になりました。6月29日から7月1日に西日本陸上競技対校選手権大会が、10月26日から28日に中国四国陸上競技選手権大会が開催されます。1人1人がベストタイムを更新し、1人でも多く入賞できるように日々の練習から地道に頑張っていきます。これからも陸上競技部の応援をよろしくお願いします。

・大会結果

第40回中国四国陸上競技選手権大会　10000mW

1位　村上　寛佳

第72回中国四国陸上競技対校選手権大会　10000mW

3位　村上　寛佳

ヨット部がOBと合同練習

今年は、新一年生が入部してくれたことにより、全学年に部員がいる状態となりました。部員数が増えたことで、練習がよりよいものとなってきています。5月末には約20年ぶりに新しい艇をOBの皆様や学校のお力添えによって、購入することができました。中国インカレで3艇でのチーム出場をして、上位に入ることを目標に本学や広島県の大学と合同練習を行い、お互いに心身ともに高めあっていきたいです。また、障がい者中心のハンザワールドも今年開催されるのでボランティアとして、いろいろな人たちとヨットというスポーツを盛り上げていきたいです。応援よろしくお願いいたします！

西日本豪雨災害の対応について

西日本広域に甚大な被害を出した西日本豪雨災害ですが、広島キャンパスには大きな被害はありませんでした。しかし、近隣のＪＲ西高屋駅付近は広域に渡り浸水し、土砂崩れなども多数確認され、ＪＲ山陽本線、ＪＲ呉線など全線不通となり、学生は通学することが困難な状況となりました。

そのため東広島、三原、呉、西条の4駅から無料送迎バスを運行し、通学手段の確保に努めました。当面の7月6日～14日までを休講とし、17日より授業再開、5・6時限に補講を行うなど災害対応を実施しました。東広島市はＪＲ、高速道路など交通網が寸断され一時食料や飲料が品薄の状態となり、一人暮らしの学生の生活が懸念されました。その対策として、大学で備蓄してある食料・飲料を無料配付し、同時に法人本部(大阪)より食料・飲料を5，000食送っていただくなど近畿大学学園として総力をあげて対応しました。

また、工学部同窓会から中国新聞社会事業団へ災害義援金10万円をお送りしています。

がんばろう・広島！

▲ＪＲ西高屋駅周辺水没

▲国道２号線・崩落（瀬野川）

▲無料送迎バス

大学祭【うめの辺祭】

平成30年10月13日㈯・14日㈰開催
大迫力の花火を見逃すな！

今年、10月13日㈯・14日㈰に第60回うめの辺祭(大学祭)を開催いたします。今年は例年とは違いメディアセンター前の一か所のみのステージ設置を予定しています。

メディアセンター前のステージでは、華やかなステージ看板を背景に小さい子供からお年寄りまで楽しめるビンゴ大会をはじめとした様々な企画や、お笑い芸人の方を迎えたライブを行う予定で、どれも盛り上がること間違いなしのものとなっています。また、館内では文化系サークルによる展示なども行う予定です。さらに二日目の夜には、うめの辺祭の目玉となる花火を打ち上げます。ＢＧＭと連携して打ちあがる鮮やかな花火はこれ以上ない仕上がりになると思いますので、ぜひお越しください。

また、大学にお越しになる際は、最寄り駅の西高屋駅から無料送迎バスが運行していますのでよろしければご利用ください。

近畿大学工学部後輩学生一同で、卒業生の皆様のお越しをお待ちしております。

平成31年度 工学部入学試験日程一覧

入試制度	試験日	出願期間	合格発表日
ＡＯ入試	平成30年10月20日㈯	平成30年９月25日㈫～10月４日㈭〈締切日消印有効〉	平成30年11月７日㈬
推薦入試（一般公募）	平成30年11月17日㈯ 11月18日㈰ 〔試験日自由選択〕	平成30年11月１日㈭～11月８日㈭〈消印有効〉	平成30年11月29日㈭
一般入試・前期（Ａ日程）	平成31年１月26日㈯ 1月27日㈰ 〔試験日自由選択〕	平成31年１月３日㈭～１月17日㈭〈消印有効〉	平成31年２月６日㈬
一般入試・前期（Ｂ日程）ＰＣ方式（前期）	平成31年２月13日㈬ 2月14日㈭ 〔試験日自由選択〕	平成31年１月３日㈭～２月２日㈯〈消印有効〉	平成31年２月23日㈯
一般入試・後期	平成31年３月８日㈮ 3月９日㈯ 〔試験日自由選択〕	平成31年２月４日㈪～２月27日㈬〈消印有効〉	平成31年３月19日㈫
Ｃ方式（前期）	＊大学入試センター試験利用本学の個別学力試験は課しません	平成31年１月３日㈭～１月18日㈮〈消印有効〉	平成31年２月17日㈰
Ｃ方式（中期）		平成31年１月３日㈭～２月２日㈯〈消印有効〉	平成31年２月17日㈰
Ｃ方式（後期）		平成31年２月４日㈪～３月４日㈪〈消印有効〉	平成31年３月19日㈫

※詳しくは、2019近畿大学入試情報サイト「いくぞ！近大」をご覧ください。　https://kindai.jp/

協賛広告募集中！

同窓会報に協賛広告を募集しています。

会報の発刊部数は約2万冊、発行日は毎年9月1日です。工学部の全卒業生と在学生、教職員に配付します。
広告の内容は企業・商品PRや会合告知などなんでも結構です。同窓生のコミュニティ広場として、同窓会報をご活用ください。

★広告希望の方は右記メールへご連絡ください。
「工学部同窓会報広告希望」と記載ください。

E-mail:dousou@hiro.kindai.ac.jp

全車種公認校
各種技能講習
TEL：0120-39-1859
住所：安芸郡熊野町5640-1
公認 テクノ自動車学校
竹内　正彦（昭和38年・機械工卒）
竹内　勝博（平成4年・経営工卒）

もの造りと　ともに
福興商事株式会社
高圧ガス全般・溶接溶断機器・機械工具
アーク、マテハンロボット・レーザー加工機
呉市広本町1－2－18　TEL：0823－71－8515
東　忠昭　昭和56年・工業化学科卒

素材と技術の持つ、
限りない可能性を見つめて。
熱処理のデパート
NAGATO 株式会社ナガト
〒732-0802 広島市南区大州三丁目6番24号
TEL 082-282-4361 FAX 082-282-4262
広島／大州・海田・沼田・志和・黒瀬　山口／防府　愛知／東海・刈谷
中国／江蘇省　タイ
http://www.nagato-ht.co.jp

コンピューター用伝票印刷・製本加工
セイコービジネス株式会社
代表取締役　宇都宮　公徳
〒737-0161 呉市郷原町4010-11　TEL 0823-77-1122　FAX 0823-77-1117

「安全」「品質」「環境」
三谷建設株式会社
〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂1647番地
Tel(084)951-1254　fax(084)952-0482
http://mitani-net.jp

長年不可能と言われとったクロマグロの完全養殖を、世界で初めて成功させたのは近畿大学なんよ。近畿大学の建学の精神
「実学教育」と、既存の大学の枠にはまらん「固定概念をぶっこわす」という近大スピリットは、実は60年も前から広島に根付いとんよ。
じゃけん"近大マグロ"に負けん世界を驚かせるチャレンジを一緒にやろうや。近畿大学 広島キャンパスで。

日本を起す。工学を興す。
近畿大学 工学部（広島キャンパス）
〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL(082)434-7004 FAX(082)434-7531
※お電話またはFAXをいただく際は、市外局番が同一の地域内でも[082]からおかけください。

ホームページアドレス
http://www.kindai.ac.jp/engineering/
メールアドレス
nyushi@hiro.kindai.ac.jp

■化学生命工学科　■電子情報工学科
■機械工学科　■情報学科
■ロボティクス学科　■建築学科

学科だより

化学生命工学科

○平成30年2月15日に、卒業研究発表会がポスターセッション形式で行われ、74件の研究が報告されました。6月には質疑・応答を伴う口頭発表形式の中間発表が行われ、また、教員からの指導や学生間での討論も含めたレポート提出を求めております。バイオ・化学を基礎として食品、機能材料、環境さらに当学科が特色づけてきた融合分野等多方面の分野で、活発な研究討論がされました。成長した学生さんたちの今後の活躍を確信する場面となりました。

○平成29年度の卒業式が3月13日に挙行されました。化学生命工学科74名、生物化学工学科1名合計75名が学び舎をあとにしました。増加傾向にある上場企業／資本金1億円以上の企業(53%)を含め、内定率100%でした。企業や大学院で技術者・研究者としての活躍が期待されます。

○平成30年度の入学式が4月6日に挙行されました。84名の新入生を化学生命工学科第6期生として迎えました(女子学生比率38%)。4月14、15日には新入生研修会をみろくの里(ツネイシしまなみビレッジ：福山市)で実施しました。BBQ夕食や学会主催のクイズやパフォーマンス行事が行われ、教員とのグループ活動(写真)で親睦を深めました。この研修会を自校学習や技術者倫理教育、また、学科授業科目「フレッシュマンゼミナール」でディベートや環境問題等をテーマとしたグループ活動に繋げています。毎回の討論で学生さんの考える力が着実に身についています。

○平成29年度には JABEE(日本技術者教育認定機構)に再認定(継続8年)されました。学生も教職員も日々教育改善のPDCAサイクルを続けております。また、平成21年度入学生から卒業時の認定資格となった食品衛生管理者・監視員資格も約80%の卒業生が取得しています。

○クラウドファンディングによる山本和彦准教授らの近大ハニープロジェクトが継続されています。ハチミツづくりに適したキャンパス周辺を活用して、「地域と若者を元気にするハチミツづくり」等の取材もあり、Webでも閲覧できます。ハチミツ酵母の発酵能力の食品応用、民間療法に着目した医療分野への研究も展開されています。

○苅部甚一講師が伊藤一明教授の定年退職後の後任として、茨城大学広域水圏科学教育センターから着任されました。環境化学、水域生態学をご専門分野とする36歳の新進気鋭の先生です。本学での教育・研究におけるアクティブな発展が期待されます。

○平成29年度末をもって、伊藤一明教授が十八年間のご勤務の後にご退職になられました。多くの在学生の出席の下開催された最終講義(平成30年1月23日㈫)では、教育・研究への長年の熱いお心に触れることができました。また、平成30年度末には、ご定年後も学部職として奉職された野村教授が任期を終えられます。さらに、井原教授もご定年を迎えられ、ご退職されます。両教授には教育・研究のみならず多方面にて学部・学科の発展にご尽力いただき、そのご貢献は同窓生皆様方の周知のところと存じます。心から感謝申し上げます。

機械工学科

○計測制御工学研究室の樹野准教授が教授に昇格されました。今後学科や学部に大いに貢献頂けることと思います。

○学科長は生田教授が務められ、西村教授は研究科長、旗手教授は学部長補佐として、学部・大学院を引き続き支えられています。

○昨年度は、2月9日に卒業研究発表会、修士学位論文公聴会が1月31日に実施され、学科より学部生86名、大学院6名の卒業生・修了生が社会に巣立ちました。近年機械系の求人が増加したことから、昨年度も順調に就職活動が進み、学科の企業就職内定率100%と良い結果となりました。公務員に3名、また、大学院博士課程前期へは13名(他学へ7名)進学し、進路決定率は100%となりました。今後の活躍に期待したいと思います。

○今春は、学科に全国から98名の新入生を迎えることができました。4月13－14日に、機械工学会主催の新入生研修会が実施され、もみの木森林公園に宿泊し、自己紹介やレクレーション、ドッチボール大会を行いました。ドッチボールは白熱した試合展開になり、皆で親睦を深めました。

○写真は、新入生のフレッシュマンゼミナールでのペーパークレーンの製作風景です。前期も半ばを過ぎ、新入生は大学生活になじみ、順調に勉学等を進めています。また、4年生、大学院2年生は、就職活動も一段落して、卒業、修了に向け研究活動に力が入ってきています。

○学科の研究室構成：材料工学研究室(旗手稔　教授、信木関准教授)、設計工学研究室(白石光信　教授、伊藤寛明　講師)、加工工学研究室(生田明彦　教授、山田智裕　助教)、流体工学研究室(角田勝　教授、亀田孝嗣　准教授)、熱工学研究室(田端道彦　教授)、計測制御工学研究室(西村公伸　教授、樹野淳也　教授)、惑星科学研究室(道上達広　准教授)、憲法学研究室(西條潤　講師)

情報学科

○教員の動向

松冨達夫教授が平成30年3月31日付けで定年退職されました。

○保護者懇談会

平成29年度の保護者懇談会(工学部主催)は次の日程で実施されました。9月30日(工学部会場)、10月1日(徳島会場、松山会場)、10月7日(姫路会場)、10月8日(大阪会場)。各会場に保護者をお迎えして学科教員との面談を実施しました。今回も意義深いものとなりました。なお、本部主催の近大フェアにおいても当学科から教員が派遣され保護者面談に臨みました。いずれの会場でも保護者の方々からご好評を頂いています。

○卒業研究発表会

平成30年2月16日㈮開催。

すべての中間レポート、論文、発表について主査・副主査が採点し、総合的に評価しました。平成29年度は4会場にて計80題が発表され、緊張感を伴う発表と活気のある質疑応答が展開されました。

○新入生研修会

平成30年4月13日㈮～14日㈯。研修地：いこいの村ひろしま(山県郡安芸太田町深入山)。110名参加。

第1日目の夕食後はコミュニケーションスキルを磨く実習にトライし、アトラクション(ビンゴ大会)も盛り上がりました。第2日目は、体育館(戸河内ふれあいセンター体育館)にてレクリエーション(ドッヂボール大会)が催されました。昨年度とほぼ同様のスケジュール進行となりました。

△新入生研修会（実習風景）

△新入生研修会（食事風景）

小雨とやや低い気温でコンディションは万全ではないものの、立案・実行した工学会役員の尽力で、参加した新入生が十分に楽しめたばかりでなく、それぞれに学び取ることが多い有意義な研修会となりました。

建築学科

○平成30年度より、樋渡彩先生が専任講師として着任されました。樋渡先生は、建築学科創設以来、初めての専門の女性教員で、日本建築学会奨励賞を受賞されるなど、非常に優秀な先生です。イタリアの都市史がご専門で、最近では、地中海沿岸都市と瀬戸内海沿岸都市の比較研究で瀬戸内海の魅力を再発掘する研究も手がけられ、地方創生のブレークスルーとして期待されています。なお、昨年度のことになりますが、ご退職された来嶋大二先生の後任として、佐々木良勝先生が数学の准教授として着任されました。

○平成30年度末で難波義郎教授が定年退職されます。これまで、設備設計の専門家が崔先生のみで、設備系への就職のニーズに十分応えられなかったため、今年度から市川先生を環境系（環境設計）から計画系（建築計画）に移行し、来年度、環境・設備系の教員を公募することにしました。これで、建築学科が長年目指していた教員配置（意匠・計画系5名、環境・設備系2名、構造・材料系5名）が達成できる予定です。

○平成29年度に米国のレンセラー工科大学と短期および長期交換留学協定を締結し、早速、平成30年2月24日～3月10日に、本学科の学生18名がレンセラー工科大学への短期留学に参加しました。また、この時は、エジンバラ大学への短期留学も同時に実施し、英国ロンドン・スコットランドと米国ニューヨークを一度に巡るスケジュールでしたが、小川先生、寺井先生引率のもと充実した海外研修になったようです。長期（1セメスター）の交換留学も今年度から実施する予定です。

○学生の就職の方も好調で、最近の特徴としては、設計事務所への就職が増えています。意匠設計では、梓設計、池下設計、類設計など、大手の総合設計事務所に就職する学生が増え、構造設計でも、あい設計、日鉄住金テックスエンジ、ウッドワンなどの大企業や、萬田隆構造設計事務所、木下洋介構造設計室、西建築設計事務所などのアトリエ事務所に就職・内定する学生が増えました。また、設備職でも、竹中工務店に内定を決める大学院生が出るなど、JABEE認定を受けてから10年の教育成果が現れてきているようです。

▲レンセラー工科大学への短期留学

電子情報工学科

○平成30年4月1日付で佐々木愛一郎准教授（電磁界情報工学研究室）が電子情報工学科に着任されました。

○平成30年4月1日付で栗田耕一教授が次世代基盤技術研究所の所長に就任されました（兼務）。また4月1日に、同研究所に知能計測工学研究センターが新設されました。詳細は研究所のホームページをご覧ください。https://kuring.hiro.kindai.ac.jp/

○平成30年4月に87名の新入生が入学しました。4月13日・14日には新入生研修会を鞆の浦と千光寺公園にて開催し、各グループで学生が計画した内容を実施しました。研修を通じて、学生同士および学生と教員との親睦を深めました。

○平成29年度に、本学科と大学院電子情報システムクラスタ（平成29年度より電子情報工学コース）の学生が、学会で次のように活躍しました。

・電気・情報関連学会中国支部連合大会にて
―電気学会優秀論文発表賞を受賞：猪原 佑君（学部4年）
―奨励賞を受賞：森永将太君（修士1年）・合田満貴君（学部4年）

・IEEE HISS 学生シンポジウムで優秀研究賞を受賞：森永将太君（修士1年）・東 雄貴君（学部4年）

・SICE Annual Conferenceで Young Authors Awardファイナリストに選出：小松弘和君（博士後期課程2年）

・European Conference on Applied Superconductivity（国外）にて発表：増谷夏輝君（修士2年）

○佐々木先生のご挨拶：

新任教員の佐々木愛一郎と申します。今をときめく近畿大学で教育と研究を行う機会を頂き、期待に胸を膨らませております。以前はNTTの研究所に20年間勤務しておりました。長年企業で研究開発に携わった経験を活かし、学生の皆さんが社会で活躍するための基礎教育を実践したいと思っています。個性豊かな近大生、そして卒業生の皆様との出会いを楽しみにしております。

ロボティクス学科

○新任・昇任

白井 敦教授が就任されました。柴田瑞穂講師が准教授に昇任されました。

○平成29年度大学院修士論文公聴会・学部卒業論文発表会

平成30年1月31日に卒業論文発表会が開催され、一人ひとりが口頭発表を行いました。

○学生表彰

日本機械学会畠山賞を福家一輝君が受賞しました。

○平成29年度卒業式

平成30年3月13日に工学部卒業式と大学院システム工学研究科の修了式が挙行され、ロボティクス学科の第二期生が社会に羽ばたきました。

○平成30年度入学式

平成30年4月6日にロボティクス学科入学式が挙行されました。また、4月13日から14日に休暇村帝釈峡で新入生研修会を行いました。夕方には白井教授から講話がありました。翌日は、紙飛行機大会が開催されました。泊りがけの研修会によって親睦を深めるとともに、大学生活に向けて気持ちを新たにしました。

○教員情報

酒井准教授が機械学会フェローおよび自動車技術会JSAEフェローエンジニアに認定されました。また、自動車技術会2017年度秋季学術講演において優秀講演賞を受賞しました。

今年度の同窓会懇親会にご出席予定のご退職された先生方

―卒業生の皆さんへのメッセージ―

杉山　一男　先生（生物化学）
高分子研卒業生の皆さん集合！
私は昭和48年から平成24年までの39年間、工学部に在籍していました。卒業生の皆さんはお元気でしょうか？学科名称は工業化学→化学環境工学→生物化学工学科と変わり、研究室名も高分子化学→高分子材料化学→生体材料研究室と変わりましたが、ずっとオニの杉山とホトケの白石で経営してきました。皆さんは「高分子」というキーワードで繋がる仲間で、それぞれ会社の中枢、チームの中心となって活躍しておられることでしょう。現在、私は人工透析を受けていますが同窓会に出席する予定です。

間野　正己　先生（機械工）
退職して20年、卒業生から初めて声がかかってきました。上野の精養軒で晩食を共にした後、カラオケ屋で近大校歌、近大節、学生歌等を歌って若返りました。次回は私が実行委員を引受けている埼玉寮歌祭と旧制高校と新制大学合同の中央寮歌祭で会うことにしました。

片山　一三　先生（機械工）
おかげで元気でやっています。今年もこりずに枝豆やとうもろこしを植えて猿の襲来を待ち受けています。今年こそ収穫を我に。

後藤　昌生　先生（情報システム工）
会って、話して、食して楽しみましょう！心身ともに健康の素となります。ゼミOB生、皆んな、つどへ！

坂尾　富士彦　先生（システムデザイン工）
自身は日毎月毎に衰えを感じるのみですが、卒業生の皆さんは社会人として脂が乗ってきているのでは、と期待しています。益々ご活躍の程を、但し健康に留意して。

丹羽　五十一　先生（事務部）
同窓会によせて
同窓会といえばいつもなんとなく「人を知る（知人）」「朋友はこれを信じ（朋友信之）」という言葉が浮んでくる。ごくありふれた言葉だが、かの孔子の言葉だと思うと何となく違ったものに思えてくるから不思議だ。これがどんな場面にどんな意味でつかわれたかとんと記憶にないが、大学の同窓会にはふさわしいようだ。小、中、高の出会いは地縁だが、大学の同窓は時には外国まで地縁を超えた各地から志を同じくする者が集ってくる。信じあえる終生の朋友を得る。そんな出会いが同窓にはあるのだろうなとそんな風に感じているからかも知れない。同窓会おめでとう！

島津江　徹　先生（事務部）
昨年11月、縁あって沖縄旅行に行きました。滞在中、本学部卒業のOB大城幸栄、新垣吉雄両君に会う機会がありました。二人とも20数年前に沖縄工業高校教員は定年退職をしており、其の内の新垣吉雄君は戦後絶滅したと思われた沖縄大根が偶然に荒野で見つかった大根の栽培育成に地元組合の理事長として力を注いでいました。そもそもこの大根は昭和天皇が台湾訪問の際、沖縄に寄航された時に食され「旨い」との好評を戴いたそうです。沖縄大根栽培の成功を祈ってやみません。

今年度の同窓会懇親会にご出席予定の先生方（現職）

藤原　義人	先生	（生物化学工）
伊藤　一明	先生	（化学生命工）
塩田　俊雄	先生	（機械工）
長寄　羊一	先生	（機械工）
森村　毅	先生	（建築）
天田　三郎	先生	（情報システム工）
太田　光雄	先生	（電子情報工）
渡邉　昌昭	先生	（知能機械工）
山根　成美	先生	（事務部）
野村　正人	先生	（化学生命工）
旗手　稔	先生	（機械工）
田端　道彦	先生	（機械工）
信木　関	先生	（機械工）
髙山　智行	先生	（情報）
谷崎　隆士	先生	（情報）
荻原　昭夫	先生	（情報）
片岡　隆之	先生	（情報）
崔　軍	先生	（建築）
松本　慎也	先生	（建築）
黄　健	先生	（ロボティクス）
田上　将治	先生	（ロボティクス）

近畿大学工学部同窓会役員一覧

名誉会長	野村	正人
顧問	木下	光夫
顧問	山根	成美
顧問	藤原	義人
顧問	塩田	俊雄
顧問	京極	秀樹
顧問	竹内	正彦
顧問	小松	眞一郎
相談役	松原	伸
会長	藤田	博久
副会長	永久	博司
副会長	河野	嘉寛
副会長	中光	芳朗
副会長	大田	和彦
幹事長	三谷	哲也
副幹事長	高下	朋彦
常任幹事	西明	勇
常任幹事	田中	恒夫
常任幹事	宇根	昭信
常任幹事	東	忠昭
常任幹事	野田	安春
常任幹事	椋田	豊
常任幹事	林田	安広
常任幹事	信木	関
常任幹事	岡田	直行
常任幹事	片山	慎一
事務局長	倉田	浩美
会計	福田	圭子
幹事	石井	一幸
幹事	木庭	毅
幹事	猪原	清
幹事	小林	太郎
幹事	大谷	崇
幹事	利島	芙貴
幹事	吉谷	栄二
幹事	高田	博之
幹事	上田	耕士
幹事	中谷	和紀
幹事	田上	将治
幹事	根石	剛生
幹事	市原	俊典
幹事	新田	信雄

編集後記

同窓会報第21号を皆様のお手元にお届けします。
7月の豪雨災害では、被災された同窓の方々・ご家族・関係者もおられたのではないかと危惧しています。また、その後の酷暑も例年以上のものがありました。ここに謹んでお見舞い申し上げます。
幸い大学キャンパスには被害はありませんでしたが、山陽本線などの不通で1週間余り休講になり学生の勉学や教職員の職務に大きな影響が出ました。人生には「まさかの坂」があると言われますが、来年六十周年を迎える工学部にとっても今年の豪雨災害は「まさかの坂」の出来事でした。皆様のご無事をお祈りします。
末筆ながら、本号にご寄稿、情報のご提供をいただきました関係諸氏に厚く御礼申し上げます。今後も同窓生同士の活動、呼びかけ、投稿、ご連絡事項等がございましたら、紙面にて紹介させていただきますので、左記までご連絡いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

大田和彦

近畿大学工学部同窓会報　第21号
発　行・平成三十年九月一日
発　行　者・近畿大学工学部同窓会
代　表　者・藤　田　博　久
編集責任者・大　田　和　彦
事務局長・片　山　慎　一
〒七三九―二一一六
東広島市高屋うめの辺一番
電　話・〇八二―四三四―七〇〇五
FAX・〇八二―四三四―七〇一一
E-mail：dousou@hiro.kindai.ac.jp